

- 問1 5世紀ごろ、百済の博士として日本に派遣され、漢字とともに儒教を伝えた人物は誰？
- 問2 4世紀から7世紀にかけて近畿地方を中心に勢力を広げた勢力を何という？
- 問3 5世紀ごろ、日本に漢字や経典を伝えたと言われる、百済から来た人物は誰？
- 問4 仏教を深く信仰し、政治や文化に取り入れることで、新しい文明の定着に努めた人物は誰？
- 問5 ヤマト王権が、軍事的な指揮権を認めてもらうために使者を送り、鉄資源などの確保を目指した地域はどこ？
- 問6 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？
- 問7 古墳の周囲に立て並べられた、当時の権威を示す土製の焼き物を何という？
- 問8 6世紀半ばに、日本の欽明天皇へ仏像や経典を贈り、仏教を公式に伝えた百済の王は誰？
- 問9 6世紀、日本への仏教伝来に際して、その導入に賛成した有力な豪族は誰？
- 問10 中国の歴史書に記されている、5世紀頃に南朝へ朝貢を行ったヤマト王権の5人の王をまとめて何という？
- 問11 古墳の内部に死者の権威を示すために納められた鏡などの品々を何という？
- 問12 3世紀後半から奈良盆地を中心に広がり、各地の豪族を従えて日本列島の広範囲に勢力を及ぼした政治連合は何という？
- 問13 儒教の伝来とともに日本に広まった、孔子の教えを記した書物を何という？
- 問14 熊本県和水町にあり、稲荷山古墳と同じ大王の名が刻まれた鉄刀が出土したことで知られる古墳は何という？
- 問15 古墳時代に輸入された鉄を利用して作られ、農業生産力を向上させた道具を何という？
- 問16 ヤマト王権の支配力が関東地方まで及んでいたことを示す、埼玉県から出土した重要な鉄剣が見つかった古墳を何という？
- 問17 5世紀のヤマト王権が、外交のために使者を派遣していた中国の王朝はどこ？
- 問18 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？
- 問19 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたとされる大王は誰？
- 問20 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？
- 問21 ヤマト王権が鉄資源を求めて使者を派遣した、中国の当時の王朝を何という？